



の後はご縁がなかったのですが、3年前に二ツ目の落語家の方（金原亭馬久さん）を紹介していただきました。少しコロナ

で時間があいてしまいましたが、先月、ある施設で落語会を開催してもらいました。一言でいうと、ライブはいい！声量も心地よく、楽しい。そして多くの人と一緒に聞くのがまたいい。

実は落語とコラボしたいことがあり、今回の落語会につながりました。僕自身も一般の方に向けた講演会をすることがありますが、落語家の方に楽しく伝えてもらえればもっと社会に広まるのではないかと。もちろんシナリオはこちらで考えなくてはならないのですが、落語の伝える力

を利用しない手はないなあと思ってます。今年中には完成させる予定です。その際はぜひご参集を。

## 団塊の世代

先日、あるところでお話しすることになったのですが、まったく門外漢なテーマでした。地域包括ケアシステムについて。団塊の世代（昭和22年から24年に生まれた方）が75歳以上となる2025年を目標に、地域で最後まで暮らせる社会づくりを目標とした国を挙げての取り組みです。

昭和40年生まれの僕からすると、団塊の世代というのは親世代でもなく、兄弟世代でもないという世代ですが、小さい頃、憧れのスターの皆さ

んがまさに団塊の世代。ジャンボ尾崎、矢沢永吉、小田和正、沢田研二、吉田拓郎、ビートたけし、高田純次、村上春樹、赤川次郎などなど。まだまだ精力的に活躍されている方も多いです。

ある本で、動物の寿命は心臓の動き（心拍）で決まっており、約20億回という説があるそうです。例えばハツカネズミは1分間で600回心拍があり、20億回で3年の寿命、ゾウは1分間で30回なので60年ほどと言われています。その計算でいくとヒトの生物学的寿命は55歳ほどのはず。実際、明治、大正時代の方の平均寿命はそれくらいでした。75歳という数字は本当に素晴らしいですね。そして皆さんお若い！まだまだ社会で活躍していただきたいですね。